

弘前大学農学生命科学部市民公開講座のご案内

このたび「日本と台湾の自然共生の道」をテーマとした弘前大学農学生命科学部市民公開講座を開催いたします。

11月4日～9日に農学生命科学部2年生を対象とした台湾での現地研修を行い、「グリーンイノベーションと共生の道：環境へのエンジニアリングソリューション」をテーマに、台湾の洋上風力発電、漁業との共存、生態系再生、そして八田與一が遺した農業土木施設について学びました。また、現地プロジェクトの見学や技術者との交流を通じて、理論と実践を融合させた学びを深め、台湾の環境や文化に触れることで、異なる価値観や社会的課題への理解を深めるとともに、グローバルな視点を養う貴重な機会となりました。

本学部では、当研修から得られた成果が、日本の自然エネルギー事業、河川砂防事業、農村整備事業等に関わるインフラ整備にも参考になると考え、学生と教員による報告会を開催いたします。ぜひご参加下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【報告会の概要】

日 時：2024年12月15日（日）10：00～12：00

場 所：ハイブリッド開催

参加方法：

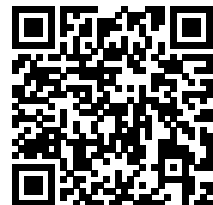
- ・現地参加：申込不要です（先着30名）。

当日、直接会場にお越しください。

【会場：ヒロコ3F/多世代交流室2（弘前市駅前町 9-20）】

- ・オンライン参加：12月14日（土）までに、右側のQRコードを読み取るか、以下のリンクより参加申し込みいただき、Teamsのアクセス情報をお受け取りください。

申込むリンク先：<https://forms.gle/NbSGimeursJLep2V9>



※参加費は無料です。どなたでもご参加いただけます。

主催：弘前大学農学生命科学部

共催：公益財団法人砂防学会東北支部

時間割：下表のとおり

時 間	内 容
10：00～10：05	開会の挨拶(東信行 学部長)
10：05～10：20	自然と共存する河川管理：台湾における川づくり の实践（同学部2年生）
10：20～10：35	八田與一に学ぶ：日本人技術者が築いた台湾の水 利事業とその遺産(同学部2年生)
10：35～10：50	台湾洋上風力発電の挑戦と未来：持続可能なエネ ルギーへの道（同学部2年生）
10：50～11：15	青森県の川づくり：アユがのぼれる川の再生 (矢田谷健一 助教)
10：15～11：40	ジオツーリズムで楽しむ地すべりと大地のドラ マ：自然の力を学ぶ旅へ（鄒青穎 講師）
11：40～12：00	質疑応答（教員・学生へご質問いただけます）・ 閉会の挨拶

問い合わせ先：弘前大学 農学生命科学部 地域環境工学科

鄒青穎（Tsou, Ching-Ying）tsou.chingying@hirosaki-u.ac.jp

矢田谷健一（Yataya, Kenichi）yataya@hirosaki-u.ac.jp



今も台湾で尊敬を受ける日本人技術者、八田與一技師（1886-1942年）の銅像



戦前に八田與一技師が手掛けた烏山頭ダム（台湾の方々と信頼関係を築き、約10年で津軽ダム規模の農業用水用ダムを完成させた）



Nature-based Solutionsを牽引する中興大学陳教授から、河川の自然再生事業について説明を受ける（種瓜抗溪）



野鳥の観察（台湾は野鳥の宝庫）



台湾は洋上風力発電の社会実装先進地である（苗栗龍鳳漁港沖）



「藻場創成による洋上風力発電と漁業との協調の試み」について、葉博士から説明を受ける